

令和5年度



の幼児教育
(No.5)

～園の特色を活かした保育～



芦屋市立幼稚園教育研究会

はじめに

市立幼稚園では、芦屋市の教育・保育理念「“いのち”を大切にし、生きる力の基礎を育む」に基づき「あかるく元気な子ども」「しっかり考え合う子ども」「やさしい子ども」を育てたい子ども像とし、教育に取り組んでいます。

芦屋市の幼児教育のセンター的役割を担っている市立幼稚園として、令和元年度より実践報告集「あしやの幼児教育」を作成し、今年度は5冊目の発行となります。本書は、幼児教育について可視化を図り、市立幼稚園における「幼児期の大切な学び」について広く発信することを目的としています。

今年度は、各園の特色を活かした保育実践についてまとめました。その内容は好きな遊びや運動遊び、異年齢の関わり、話し合い、身近な生き物との関わり等多岐にわたっています。それぞれの実践について研究協議を重ねる中で、「幼児が豊かな経験を通して遊びの中で学んでいる姿」を確かに読み取り、そのために必要な教師の援助を共通確認することに努めました。そして、市立幼稚園の豊かな環境が子どもの育ちを伸長するものであることを再認識しています。

市立幼稚園での取組を市民の皆様に広くお知らせするとともに、今後も研究・研修を深め、本市の幼児教育の質の向上を図ってまいります。

これからも、ご理解とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

芦屋市立宮川幼稚園
岩園幼稚園
小槌幼稚園
西山幼稚園
潮見幼稚園

【本冊子の構成】



かるく元気な子ども

園名

芦屋市の育てたい子ども像

- あ かるく元気な子ども→桃
- し しっかり考え合う子ども→緑
- や さしい子ども→黄

〇〇〇〇を活かした保育

『〇〇〇〇』 〇歳児



他の子ども道づくりが好きなんじゃないかな？

各園の特色を活かしたテーマ

教師の読み取りや意図して投げ掛けた言葉を記入

≪Point 1≫
全員で楽しさを共有できる遊びを見付ける

教師が特に意識して援助した内容を記入



どっちに行こうかな？

子どもの言葉等がどの学びに接続するのかを次頁表「3つの資質・能力」の色別に分類して表記

下図の「学びの接続」を読み取った写真



※3

事例の遊びから得られた子どもの学び

事例の遊びを通して保護者等が感じた思い

～ 子どもの学び ～
校内の様子を知り期待感を膨らませる

【小学校の先生の声】
小学校生活になじむきっかけになっています

※3

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		

※の場面で子どもの育ちが「幼児期において育みたい3つの資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や小学校のどの教科の資質・能力につながっているのかを分析。

目 次

はじめに

本冊子の構成

- ・ あかるく元気な子ども 1
- ・ しっかり考え合う子ども 7
- ・ やさしい子ども 11
- ・ 子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力
. 15
- ・ 幼児期の終わりまでに育ててほしい姿 16



あかるく元気な子ども

芦屋市立岩園幼稚園

夢中になって遊ぶ楽しさを味わう

『幼稚園で遊ぶの大好き！』 3歳児

5月下旬、少しずつ幼稚園生活に慣れ、自分を出して遊ぶ姿が見られる。教師との信頼関係を築き、安心して自分のしたい遊びを存分に楽しんでほしいと願っている。



泥んこっておもしろい！

3歳児はとにかく
やってみる！

《Point 1》

- ・ 3歳児が落ち着いて遊べるように保育室の前に、専用の砂場を整える
- ・ 水を入れたタライを用意し、水の感触を楽しむようにする
- ・ 汚れることを気にしなくていいように、泥遊び用の服の用意を保護者に伝える

砂や水、泥の感触を存分に味わわせたいな



※1

《Point 2》

いろいろな道具を使って試しながら遊べるようにする

- ・ 小さいスコップ・バケツ・透明カップ
- ・ ペットボトル（大きい・小さい・固い・柔らかい）

ひっくり返してみよう
どうなる？

遊びながら
大発見！



ぶしゅっと押したら、
水が出た！



お水が出たね

柔らかいペットボトル
を押して使うなんて、
先生は考え付かなかっ
たよ。おもしろい！

《Point 3》
 4・5歳児が片付けた後、3歳児だけが園庭を自由に使える時間を確保する

大きい組さんが使っていたものは、ここにあることを知っているよ



大きい組さんみたいに置いたよ。水も入れよう。



僕もやりたい！

4・5歳児の遊んでいることを真似っこしたい！

お兄さんお姉さんが樋を使って遊んでいる所をよく見ていたんだね

～子どもの学び～

- ・砂や水、泥の感触を存分に味わい、気持ちよさを全身で感じる。
- ・新しい道具に出会い、様々に使って遊ぶことが楽しくなる。
- ・4・5歳児の道具に興味をもち、自分達の砂場に持って来て試す。

※1

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ➡ 小学校教科 生活
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	
・水を汲むためのいろいろな容器があることを知っている	・水が流れたりこぼれたりすることを楽しむ ・柔らかいペットボトルを押すと水が飛び出ることを楽しむ	・いろいろな道具を使いたい	「健康な心と体」 「自然との関わり・生命尊重」



あかるく元気な子ども

芦屋市立小槌幼稚園

友達と体を動かして遊びたくなる保育

『しっぽ追いかっこ 楽しいね』 4歳児

5月、園生活に慣れ始め、自由に園庭で遊び始めた4歳児の一人一人の興味や、楽しいと感じている活動を探った。5歳児のリレーを見て、自分達で道具を並べて友達と遊ぶ姿が見られた。そこで、クラスの友達と体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるように、走る遊びを広げていくことにした。

<5歳児さんみたいに走りたい>



やってみよう

《Point 1》

- ・友達や5歳児がしていることを見たり知ったりできるように生活をする
- ・自由に道具を出し入れできるようにしておく
(フラフープ・三角コーン等)

みんなで「よーいどん」で走ろう

様々な走る遊びをクラスの遊びに取り入れてみよう



<走ると回るよ！風みたい>



クルクル回って面白い

いっぱい走ると回るよ

<こいのぼり 空を泳ぐよ>



《Point 2》

- 走ることを楽しめるように、思わず走りたくなるようなものを用意する
(制作物・縄・スカーフ等)

<しっぽ までまで>



しっぽ まって

あと少し

つかまらないよ！

走るの楽しい

誰を追いかけるか分かるように目印（しっぽ）を付けてみよう。追いかける目標ができて、みんな参加できるようになったね。

《Point 3》

- ・ 追いかける相手が分かりやすいように「友達のしっぽを取る」という遊びを提案する
- ・ しっぽを取られることが心配な子どもも走ることを楽しめるように、しっぽを付けるかどうかは自分で選択できるようにする（しっぽを付けなくても遊びに参加できる）
- ・ 走ることを楽しめるように、カラフルなコーンを並べ迷路のような場を作る
- ・ コーンとしっぽの両方が見えるよう背中にスカーフ（しっぽ）を付ける

※2



～子どもの学び～

- ・ 走ることが面白いと感じる。
- ・ 追いかける目標（しっぽ）があることで、友達と一緒に走る（追いかけてこする）ことが楽しいと感じる。
- ・ しっぽを付けるか、付けないかを自分で選択することで、走る楽しさをより味わう。

※2

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ➡ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ しっぽを取られないように体を動かす ・ しっぽを取るというルールが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの道を通ろうか考えながら走る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と一緒に走ることが楽しい ・ しっぽを取ることが楽しい ・ しっぽを取られないことが嬉しい 	<p>「健康な心と体」</p> <p>体育</p>



あかるく元気な子ども

芦屋市立潮見幼稚園

仲間関係を育む保育

『リレーで勝ちたい！』 5歳児

昨年度の5歳児に対する憧れの気持ちが強く、進級当初よりリレーに興味をもっていた。そこで、1学期は走る楽しさを存分に味わえるように、クラスでエンドレスリレーに取り組んだ。

1学期 <3人ずつのチームに分かれてエンドレスリレー>



走る楽しさ⇒意欲

≪Point 1≫

少人数のチームにし、1人ずつの走る回数（経験値）が多くなるようにする

遊びを通して芽生えた走ることに対する自信を、2学期の運動会のリレー遊びに繋げていきたい。子ども達で、気付いたことからルールをつくっていこう。



2学期 <自分達のリレーをはじめよう！>

1



まる（トラック）が小さいと、走れないよ

リレーに必要なものを準備しよう
(トラック・バトン・ビブス・コーン)

2



順番を待つ人は、コーンのところに並んだら？

ぶつからなくなるね

遊びながら気付いたことを話し合おう
(待つ人の場所は？ゴールはどうする？等)

3



チームの人数を揃えよう
(人数の少ないチームが勝つのはどうして？等)

自分達でルールをつくる
⇒やり遂げる力

≪Point 2≫

子ども達が気付いたり考えたりしたことを認め、主体的に遊びを進める楽しさを味わえるようにする

<いい勝負になるためのチームをつくろう>

リレーを繰り返すうちに、同じチームばかりが負けるようになってきたため、お互いどう思っているのかをクラスで話し合うことにした。

【チームのメンバーを考える】

黄色チームは、今日も1位でうれしい

どのチームが勝つかわからないような、いい勝負がしたい！



僕、緑チームになろうか？

友達と遊びを進める ⇒人と関わる力

赤チームは、あと少しで1位だった

緑チームばかり3位で負けてるよ

いつも負けるのはおもしろくない...

【走る順番を考える】

次、僕が1番走るわ。速くバトン持ってくるね。



負けたの、悔しいな～

じゃあ、僕が2番を頑張る！

※3



《Point 3》

どんな勝負がいい勝負だと思うのか思いを出し合い、一人一人が思い切り走れるように支える

運動会直前までクラス全体で話し合いを重ねたことで、一人一人のやる気が高まった。当日は3チームが接戦となるいい勝負になり、力を出し切る姿が見られた。

～子どもの学び～

- 主体的に遊びを繰り返し、気付いたことを出し合いながら、リレーのルールを考えていく。
- リレーに勝つ喜びや負ける悔しさを通して友達の思いに気付き、自分の思いと折り合いをつけながら、仲間のために頑張ろうとする。

※3

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ➡ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人走る速さが違うことを知っている チームの人数を揃えることを知っている リレーはチームでバトンを繋ぐことを知っている 	<ul style="list-style-type: none"> いい勝負になるチームのメンバーを考える チーム内で走る順番やバトンの渡し方を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に頑張ろうと思う 速く友達にバトンを繋ぎたいと思う 	「健康な心と体」 「協同性」 「思考力の芽生え」 「言葉による伝え合い」
			国語 算数 体育



しっかり考え合う子ども

芦屋市立宮川幼稚園

異年齢保育の意義

『“パワー”をぴったりにしたいんだ』 4歳児

運動会の遊びが始まると5歳児のリレーに興味深く見て、自分達も「玉入れや、かけっこが早くしたくなった」と伝えにくる意欲的な姿が見られた。

今日もいっぱい
入れるぞ！

勝っても負けても
玉入れ、おもしろい！

あれ？
大きい組さんは
何しているの？

パワーをぴったり
してるみたいだ・・・

ぼくたちの玉入れの
パワーは同じかな？

玉が入ると楽しいね！昨日より入るようになったよ

5歳児のリレーの人数合わせの様子から、“人数をいっしょにする”ことに気付いている！

大きい組さんみたいにパワーを揃えてみよう

《Point 1》

- ・5歳児が人数を合わせている様子に関心をもっている姿を見守り、子どもたちの気付きを受け止める
- ・“パワーをぴったりにする”という言葉で人数を合わせるということを表現しようとしている子どもたちの思いを確かに受け止め、みんなでイメージできるようにする

※4

赤チームは7人。白チームは6人だね。
“パワー”をぴったりにするには・・・

さんさんひろば（3歳児親子ひろば）に来ている人に2人入ってもらうのはどう？

僕の右手が白玉を投げて左手が赤玉を投げたらパワーが揃うかも…

大きい組に白チームに入ってもらうのはどう？

大きい組はきっと上手だから白がいっぱい入るよ



大きい組が入ったら赤が負けちゃう

でも、さんさんひろばの3歳さんは木曜日しか来ない。どうしよう

ぼくが「監督」になって見ているよ。そしたらパワーが6パワーと6パワーになるよ！

パワーの揃え方をいろいろ試してみた結果・・・
大きい組さんに一日交代で入ってもらうことにしたよ！

4歳児なりに年齢や普段の生活から数だけではなく、力を揃えようと考えている

《Point2》
自分達で考えて決めたやり方で“パワー”が揃い、玉入れが、より楽しくなったことに共感する



大きい組さんは一日交代で毎日していないからね。パワーは大きくなるよ

私、昨日よりも入っているわ！パワーアップ！

僕達は9月から毎日玉入れをしているからいっぱい入れられる

～子どもの学び～

- ・ 5歳児が人数を合わせる姿を見て、自分達の遊びに関連づけて考えようとする。
- ・ 数だけでなく、年齢や経験も含めてパワーを揃えようと試行錯誤している。

※4 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性など		
・ チームの人数を揃えることや、揃え方を知っている	・ 人数を揃えるためのアイデアを出し合う ・ 自分達の考えたことを試す	・ 5歳児が、チームの人数を揃えようとしていることに興味をもち、遊びに取り入れる ・ 考えを出し合い、遊びを進めることを楽しむ	「健康と心と体」 「協同性」 「思考力の芽生え」 「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」 「言葉による伝え合い」	国語 算数 体育



しっかり考え合う子ども

芦屋市立岩園幼稚園

友達との話し合いから思考し、意欲を高める保育

『きれいな色を残したい』 5歳児

好きな遊びの時間に色水作りを楽しみ、色や濃さの違いに気付き始めた。道具を使って自分の作りたい色水を工夫するようになった。

ふるいで花びらをこすると濃い色が出るよ

同じピンクでも私の色と違う！

濃い紫の色水を作るにはこの花だ！

一人一人の子どもの気付きや工夫、試そうと思う気持ちを受け止める

※5

すり鉢を使うとトロトロの色水になるよ

《Point 1》
作りたい色水が実現できる環境や道具を用意する

- ・いろいろな種類や色の花
- ・ふるい、すり鉢、じょうご、ペットボトル

色をこのまま残したいな

でも明日になったら茶色くなっちゃうよ

どうしたら色を残せるかな

色を残すためにいろいろ考えたことを子どもが自ら試してみる機会にしよう

暗い所に置いてみる？

話し合いの後、早速やってみよう

冷蔵庫と冷凍庫に入れてみよう

冷蔵庫で冷やしておくのはどう？

やってみたいな

凍らせるのもいいかも！

残りは暗い場所を見つけて置こう

《Point 2》

- ・意見を存分に出し合える場を設定する
- ・子ども達が考えた場所（暗くなる部屋、冷蔵庫など）を自由に使えるようにしておく

凍らせた黄色の色水は
きれいな色がそのままだ！

暗いところのはちょっと
茶色くなってるね

不思議な凍り方の
色水があったよ！



カチカチだ！
冷たいのが
いいのかも！

冷蔵庫の色が
薄くなったけど
ちゃんと残って
いるね

色で違いが
あるのかな？

ぎゅーっと色が真ん中に集
まって凍ったんじゃない！？

考えたことをやってみ
ると、新しい発見が次々と
生まれたね

《Point 3》
置いていた色水を比較し、発見したこ
とを話し合う場を設定する

実体験したことで、
より主体的になり、思い
を自由に出し合っている

～子どもの学び～

- ・話し合いの場で気付きや思いを存分に出し合い、友達と共感し、さらに考えることを通して、「やってみたい」と意欲が膨らむ。
- ・次の日の色水の状態を予想して友達と話し合い、結果を共有する。
- ・友達と主体的に遊びを進める充実感を味わう。

※5

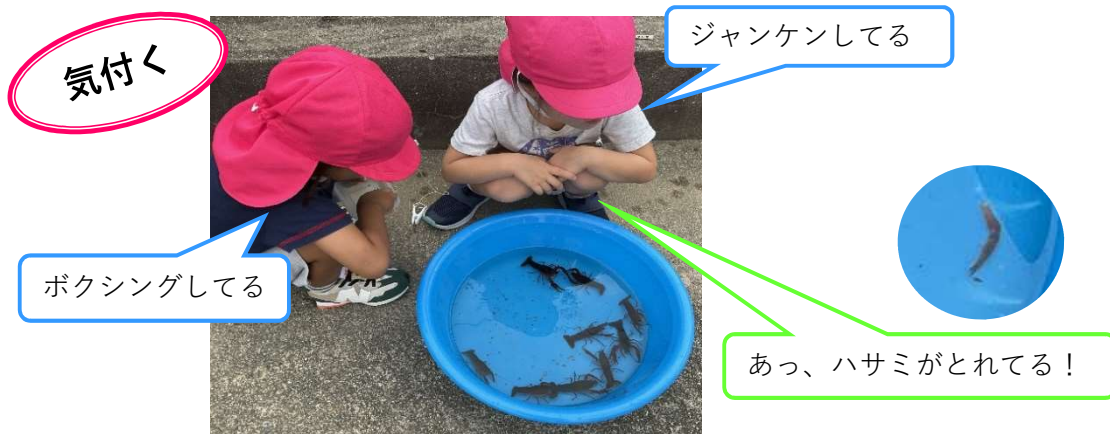
の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・花の色水は時間が経つと色が変ることを知っている ・水を冷蔵庫に入ると冷たいまま保存できたり、凍ったりするというのを知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・鮮やかな色を残すために凍らせることを考える ・友達の話聞いて、結果を予想し考えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・鮮やかな色を残したいと工夫する ・冷やしたり凍らせたりして色を残したい 	「自立心」 「思考力の芽生え」 「自然との関わり・生命尊重」 「言葉による伝え合い」	国語 生活



『大変だ！ザリガニのハサミがとれちゃった！』 4歳児

1学期、園生活に慣れてきた4歳児は池のザリガニに興味をもつようになり、釣ることが好きになってきた。釣ったザリガニでタライがいっぱいになった時、1匹のザリガニのハサミがとれていることに気が付いた。そのことをきっかけに、生き物を思いやる気持ちの芽生えとなることを願い、みんなで考えることにした。



《Point 1》
自分の考えを伝え、友達の思いを知る場をもつ



やってみる

《Point 2》
 子どもの思いに寄り添い、子ども同士で進めていけるように、十分な時間や環境を確保する

※6

タライを増やすんだね。なるほど！いい事を考えているなあ。



タライ持ってきたよ！

もっとタライを持っていこう



バケツもいるんじゃない？



2匹ずつがいいんじゃない？

(広がって) 気持ちいいのかな



1匹じゃさみしいよ

ジャンケンして遊べるもんね

お水も入れてあげよう



次の日からは、広い所にザリガニを入れるようになった

～子どもの学び～

- ・ 自分なりの思いや考えを言葉で伝えたり、自分とは違った友達の思いや考えに気付いたりする。
- ・ 自分達の生活と重ね合わせながら、ザリガニのことを思いやる気持ちが芽生える。
- ・ ザリガニが過ごしやすい環境を考える。
- ・ 友達のしていることに気付き、自分もやってみようとする。

※6 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「狭い」という感覚を知っている ・ タライのある場所を知っている ・ ザリガニが池の水の中に住んでいることを知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タライの数を増やす ・ タライに池の水を入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ザリガニの過ごしやすい広さ、大きさを考える ・ タライに入れるザリガニの数を考える 	「思考力の芽生え」 「自然との関わり・生命尊重」 「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」 「言葉による伝え合い」	国語 算数 生活



地域の自然を大切に思う心を育む保育

『オタマジャクシ、どうして足が生えてこないの？』 5歳児

奥池地区の園児宅



数年前から園児宅の庭に兵庫県で絶滅危惧種Bに指定されているモリアオガエルが卵を生みつけるようになった。池には鯉がいて、オタマジャクシが生まれ落ちても食べられてしまうことから、園で卵を保護し、カエルになるまで世話をすることにした。その中で、生き物に思いを寄せる心の成長や、自分達が住む地域への興味関心を深めることを願った。

今年は昨年よりたくさんオタマジャクシが生まれたため、「連れて帰りたい」という声子ども達から上がり、カエルになったら元の庭に戻すことを約束に、希望者は家庭で育てることにした。

モリアオガエルの卵塊



「連れて帰ったオタマジャクシに足が生えたよ！」

園児宅



うちのオタマジャクシにも足が全部生えたよ

幼稚園のは、全然足が生えていないね…



うちのオタマジャクシも！

なんでだろう…



※7



どうして幼稚園のオタマジャクシには足が生えないのかな？

お家が狭いんじゃない？

うちは洗面器に5匹だよ

水が汚くて嫌がってるんだと思う

まだカエルになりたくないとか？

エサが少ないのかも？
私の家は朝と夜の2回あげているよ

幼稚園は1回しかあげていないね

《Point 1》
一人一人が想像し、仮説を立てることができるように投げ掛け、みんなで考え合う場をつくる

足が生えるようにもっといいお家にしよう！

<どんなお家がいいかな>



お家を広く
しよう！

たくさんタライが
いるね

エサも毎日2回あげよう



1週間後

あ！足が生えてる！！

これでカエルに
なれるね

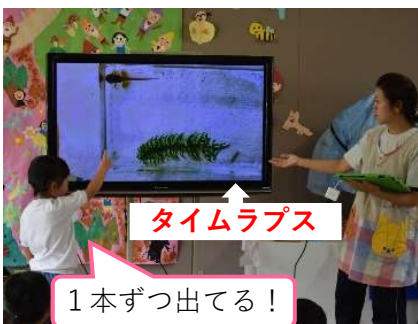
よかったね！

きっと、お家を広くして、エサも
たくさんあげたからだね！

《Point 2》

- ・オタマジャクシを思い、自分達で飼育環境を整えようとする姿を受け止める
- ・幼稚園のオタマジャクシにも足が生えたことへの喜びや、今後の成長に期待する気持ちに共感する
- ・成長に必要な条件があることへの気づきを認める

<足はどんな風に生えるのかな？>



タイムラプス

1本ずつ出てる！

不思議！

前足は2本一緒には
生えないの！？



元の場所に返し
ました

《Point 3》

子どもや保護者の話をもとに
ICT教材等を活用しながら比較
や検証を行い、子どもの興味や
学びがより深まるようにする

～子どもの学び～

- ・嬉しさや親しみの気持ち、興味、疑問等の様々な思いを共有しながら、友達と協力してオタマジャクシの世話をし、達成感を味わう。
- ・モリアオガエルの生態や暮らしについて、比較したり関連付けたりしながら飼育環境を再構成する中で、知的好奇心が高まる。
- ・地域の自然や生き物が育つための環境について知り、生命に対する理解を深める。

※7

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・オタマジャクシの成長の過程を知っている ・環境によって成長に違いがあることに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験や話し合いをもとに予想し、オタマジャクシにとって最適な環境を考える ・自分の思いや考えを言葉で伝え合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・オタマジャクシに足が生えてほしいと願う ・友達と目標を共有する 	「協同性」 「思考力の芽生え」 「自然との関わり・生命尊重」 「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」 「言葉による伝え合い」	国語 算数 生活

【子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力】

幼稚園教育において育みたい3つの資質・能力			
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
遊びや生活	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。
小学校第1学年で育成することを旨とする3つの資質・能力			
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
国語	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
算数	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにおける量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにおけるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。
生活	学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。	身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。	自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。
音楽	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
図画工作	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
体育	各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行いを知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。	各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。	各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

(1)健康な心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
(2)自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
(3)協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
(4)道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
(5)社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域の親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
(6)思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
(7)自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にする気持ちをもってかかわるようになる。
(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
(9)言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
(10)豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】出典・参考文献

- 幼稚園教育要領（平成29年告示）
- 幼稚園教育要領解説（平成30年3月）
- 小学校学習指導要領（平成29年3月告示）

文部科学省
文部科学省
文部科学省

